やさしいまち

みやしろ議会だより

No.132
2024.11.1

町民スポーツフェスティバル

ゴーゴー！子どもレスキュー隊

（総合運動公園　ぐるる宮代）

宮代町議会H.P
QRコード

令和５年度一般会計決算
物価高騰対策の支援推進‼ …… 2
決算特別委員会　各課ごとの質疑応答 …… 4
小・中学校校舎外壁の改修など …… 10
町の考えを問う　一般質問に13人が登壇 …… 14
議案に対する各議員の賛否 …… 22
町民インタビュー・懇談会のお知らせ …… 24

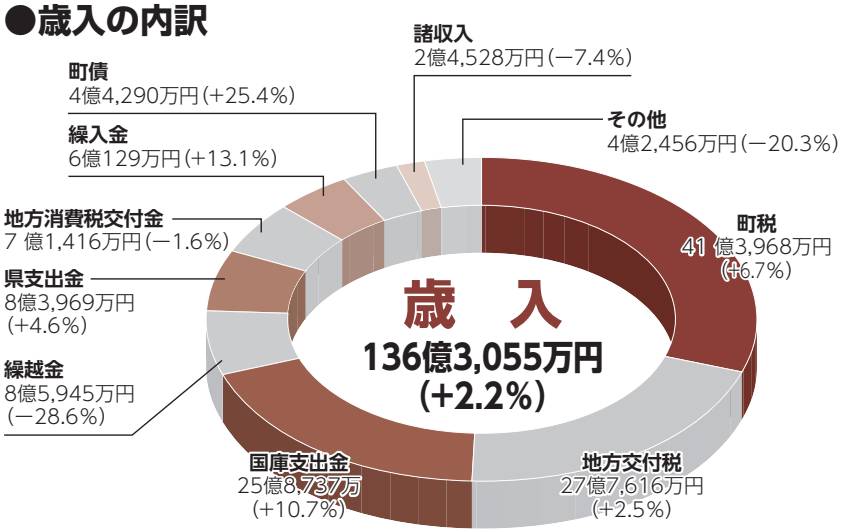
令和５年度一般会計決算

物価高騰対策の支援推進!!

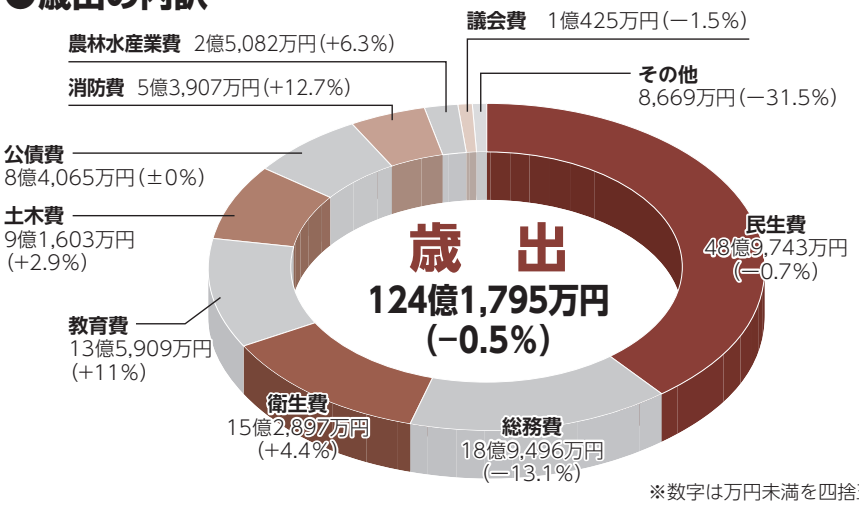
税金がどう活かされたか

決算特別委員会で検証

●歳入の内訳



●歳出の内訳



※数字は万円未満を四捨五入、
(　) は前年度比

宮代町監査委員（新祖（しんそ） 章（あきら）氏）は審査に付された決算書及び「附属書類」は正確であることを認めました。また、予算執行についても、適正に執行されているものと認めました。

9月 定例議会

9月定例議会は、8月29日から9月30日まで33日間にわたって開かれました。

町長から令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定や条例改正など25件が提案され、審議の結果、原案のとおりすべて承認・認定・同意・可決しました。また、宮代町選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙は指名推選となりました。

議員議案の「(仮称)宮代町議会ハラスメント防止条例の策定特別委員会の設置について」は全会一致で可決されました。また、町民から提出された「請願書」は反対多数で不採択となりました。

一般質問では、13人の議員が質問に立ちました。

事業の成果をチェック!!

反対討論 丸藤 栄一 議員

①新型コロナ感染症では、六花において、町民への発熱外来が受診できる体制が取られていない。②プラスチックは焼却せずに資源化の推進を求めるべき。③災害時要援護者への体制を早急につくること。

賛成討論 塚村 香織 議員

主に、公共施設予約システムの導入や進修館空調工事、産前産後の育児サービス支援、教育支援センター事業の拡充などを評価。今後も時代の過渡期に合わせた事業の推進を期待し、賛成する。

反対討論 佐藤 将行 議員

タクシー・循環バス事業、学童問題。さらには、執行部による意思決定過程の透明化や事業の検証・見直しなど、町民からの様々な声に対し、一向に改善が進んでいないことから、反対する。

賛成討論 泉 伸一郎 議員

町税の収納率が高く評価できる。地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策での支援やコロナワクチン接種がしっかりと進められ、各種事業の推進や新規事業への取組にも予算が活かされている。

賛成討論 野原 洋子 議員

姫宮駅西側、和戸駅周辺活性化事業が進み、今年度地権者と企業側との話し合いも行われた。社会体育施設維持管理事業では宮東テニスコートのネットフェンスの工事が完成。安心して使用でき賛成。

賛成討論 九山 妙子 議員

監査委員より「各種事務事業を効率的に執行している。今後も最小の経費で最大の効果を」と要望されている。日工大サイエンスプロジェクトは、交通安全を考慮しての科学教育の推進を評価する。

宮代町子育て世帯応援金給付事業

4,136 万円

●物価高騰に対応するための経済対策として、中学生以下の児童を養育する子育て世帯へ、一人当たり１万円の給付金を支給しました。

物価高騰の影響は本当に深刻だから、給付金の支給はとてもうれしいね！

東武動物公園駅東口周辺整備事業

１億 2,760 万円

●東武動物公園駅東口駅前広場の整備や東口通り線の整備を進めるため、用地買収及び調査設計を進めました。

東口駅前広場の街路事業では、無電柱化の予備設計なども進めているよ！

環境推進事業

5,498 万円

●町内公共施設における脱炭素化を進めるため、太陽光発電設備の導入に向けて、導入可能規模や費用に関する調査・検討を実施しました。

公共施設の太陽光発電設備導入の可能規模や費用を把握することができるよ！

町長への手紙をきちんと公表してほしい

総務課

問 町長への手紙について、以前は町へ都合の悪いことを書くと恣意的に公表をしないことがあったが、今後は。

答 恣意的なものがないように公表している。

町民の意見を町政へ！

問 町の財政状況は非常に悪く、以前はずっと町長報酬を20％削減していた。新井町長はなぜ削減せず満額なのか、課長会議で進言はできないか。

答 町長自身が判断してきたので、引き続き町長の考えに沿う形で行う。

問 広報みやしろをなかなか入手できないという問題への対策は。

答 問題については確認しているので、補充をまめに行う。

また、毎年在庫切れの早い2月号については、印刷部数変更も検討したいと考えている。

問 公用車運転時のアルコールチェックは。

答 法改正により、運転開始前後のチェックが義務付けられたことから、各課へアルコールチェッカーを購入した。その確認は周りの職員が行っている。

運転前後にチェック！

決算特別委員会は、町の決算について審査するために設置される特別委員会です。各課の事業に対して質問しました。

決算特別委員会

定住者増加のための考えは？

企画財政課

問 定住促進作戦の160万円の委託先は。また、定住者を増やすためにPRなどを考え直す予定は。

答 委託先はアンカルク社。PRなどはグレードアップしたいと考えている。

問 バスロケーションシステムの設置費と利用料金が令和3年度と、令和5年度では急に高額となったがその理由は。

答 従来は運転手が手書きにより集計を行っていたが、それを令和5年度からは、センサーによりカウントするシステムを導入したことにより、費用が高額になったことと認識している。

問 公共施設予約システムの利用状況は。

答 7月末時点までで、システムの登録者数は1031名である。

問 バスGo!システムの費用対効果は。

答 システム導入前後に関する件数については把握していない。

問 来年度からの循環バス契約とルート変更は。

答 契約は厳しい状況である。ルートの検証は、今後も引き続き検討していく。

宮代町
公共施設予約
システム
これまでより予約が簡単に！

防災行政無線の更新内容は

町民生活課

問　防災行政無線の更新工事697万円の内容を。

答　1つ目は、万が一停電が発生した場合でも稼働できる無停電装置の入替え工事。

　2つ目は、防災行政無線の遠隔制御装置の故障による交換工事である。

停電しても音が聴こえるように

問　町内全ての地区・自治会の訪問事業を始めたが、受けた意見と対応は。

答　自治会を抜ける人がいることや、区長・役員の成り手がいないこと、個人情報の取扱いが負担であるなどの声がある。これらを分析し、解決に向けた提案をしていきたい。

問　進修館の女子トイレの手洗い場の雨漏りが、非常にひどいので修繕が必要では。

答　雨漏りは場所の特定が難しいため、部分的な修繕ができるのか、業者と相談していきたい。

問　進修館の駐車場は56台から81台になるが、障がい者専用駐車場数は何台確保するのか。

答　障がい者の駐車場が2台で、思いやり駐車場が2台となる。

障がい者専用駐車場を確保します

決算特別委員会

ごみ袋がかさみ、住民負担が増えるのでは？

環境資源課

問　プラスチック系ごみはこれまで資源として回収されてきたが、燃やせるごみとして処理するとのこと。今後、周知期間2年間あるが、ごみ袋がかさみ、住民負担が増えるのではないか。

答　ごみ袋がかさまないよう、プラスチックごみの減量化の推進、肉や魚などが入った白いトレーなどを店頭回収できるところの情報を出しながら、順次丁寧に説明をして、理解してもらえるようにしていきたい。

問　ゼロカーボンというが、何をもってゼロなのか。

答　町の公共施設だけでなく、町民、事業者が排出している全てのCO2を実質ゼロにしていくことが趣旨である。

問　ゼロにする起点と宮代町のCO2の排出量はどのくらいか。

答　2013年度が基準年である。環境省が全ての自治体の排出量を算出した自治体排出量カルテによれば、宮代町全域で2013年度は年間13万5000トン。2021年度は10万6000トンまで減ってきている。2050年までにゼロを目指していく。

プラスチック系ごみは、燃やせるごみに？

発達支援対象の児童が増加

福祉課

問　発達支援巡回事業の委託先と、巡回している場所と頻度は。

答　社会福祉法人のみぬま福祉会に委託している。巡回先は8カ所で、未就学児を対象としているため、保育所、幼稚園に希望をとり、年に1回訪問している。

問　訪問の成果はあったか。保護者への申し送りはしているのか。

答　相談支援専門員と臨床心理士が訪問し、児童の様子を見て個別のアドバイスをしている。保護者に対しては直接ではなく、保育所、幼稚園から必要に応じて相談する。

問　小学生も発達支援の対象者が多くなっているが、小学校への巡回の拡充は。

答　今のところ要望はない。

問　障害者総合支援事業が一億円増額しているが、利用状況は。

答　共同生活援助のグループホームに係る費用が2900万円。児童発達支援、放課後デイサービスが合わせて3000万円、障がい者の生活支援が1100万円と伸びている。

早めの支援が必要

決算特別委員会

ヤングケアラーの早期発見を

子育て支援課

問　私立幼稚園振興助成金が増えているが、助成金の交付の状況は。

答　幼稚園1園に対して15万円の基準額があり、心身障がい児の人数に応じて、2万円を在園月数分上乗せしている。令和5年度は姫宮成就院幼稚園が令和4年度より申請が増えたことから増額した。

問　家庭総合支援事業ヤングケアラー調査委託における実態調査の傾向と成果を伺う。

答　小・中学生を対象に、合計1500人に対して調査を実施し、中学生1名が該当した。保護者に対して利用できるサービスなど案内した。ヤングケアラーの早期発見のため、社会福祉士を講師に迎え研修を開き、教職員と教育委員会職員15名が受講した。

問　子供の見守り強化事業の内容と成果は。

答　見守りが必要な世帯に弁当、生活支援品などを持って定期的に訪問し、子供や家庭の状況を把握した。弁当配布は週1回、生活支援品配布は月1～2回程度。

誰にも言えずにいる子どもたち

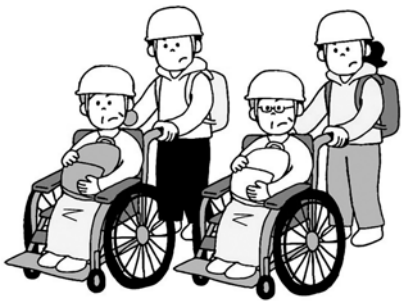
避難行動要支援者支援の今後！

健康介護課

問 **避難行動要支援者支援事業の現状と今後について。**

答 令和5年度には、若干対象者が減っている。

地域で支えようと自主防災組織のほかに自治会・民生委員・児童委員の方にも集まってもらい、合同説明会を行う。そして協働して地域で支える方向にシフトして行く。

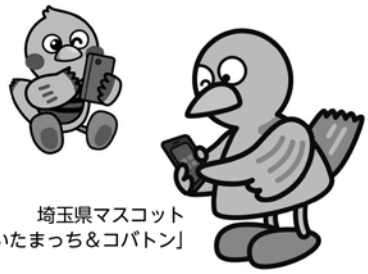


避難行動要支援者支援事業

問 **高齢者等タクシー助成金で、今後迎車料金や上限額撤廃などの問題は。**

答 この制度は、令和5年度から健康介護課に移った。計画上は、5年度・6年度・7年度は本格実施し、この仕組みを周知させる。

いろんな方の意見を伺い8年度以降に見直す。



埼玉県マスコット「さいたまっち&コバトン」

ALKOO マイレージ・コバトン

問 **ALKOOマイレージのアプリになって、前の万歩計のときに比べて人数が大幅に減っている。原因と対策は。**

答 スマホを持っていない方やアプリの導入の仕方が解らない方、スマホが大きくてポケットに入らないなど意見がある。登録のキャンペーンなど開催し周知に務める。

決算特別委員会

幅広い年代に合った消費生活講座

産業観光課

問 **若者のための消費者生活講座と年代を絞るのではなく、高齢者のロマンス詐欺が増えているので、いろんな年代に合った対策は。**

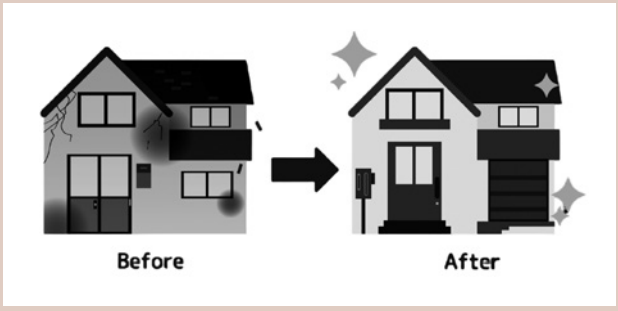
答 昨年の消費者生活講座は、若者を対象に参加人数200人で行った。消費者生活相談窓口にも高齢者の方が来られる。いろんな方に心配されても、「大丈夫」と言うのが高齢者、現在消費生活サポーター7名が参加している各地域のサロンや、高齢者の集会に出向き啓発用の冊子を配布しいろんな話をすることによって、自然と意識してもらう。

消費生活相談窓口

問 **店舗住宅リフォーム事業補助金は、使い勝手がいいために、すぐに終了してしまう。補正予算を組むなど今後の対応は。**

答 令和5年度の店舗住宅リフォーム補助金は、7月11日に終了した。

来年度以降当初予算を組むとき、産業観光課のほうで所管している補助金のうちから、利用率の多いもの少ないものを勘案して利用率の多いものには、手厚く配分できるようにしたい。



住宅リフォーム

物価高騰に対する水道料金の支援

まちづくり建設課

問 **水道事業会計負担事業における、水道料金の補助としての2か月分の内容は。**

答 物価高騰対策として、地方創生臨時交付金を活用し、水道基本料金の2か月分の免除を行ったもの。15360件、4678万円分を補助した。

水道基本料金２か月分の免除はありがたい

問 **東武動物公園駅東口周辺整備事業での無電柱化の予備設計が行われたが、内容と今後の進捗は。**

答 参画が決まった通信・電話などを地中化するための予備設計を行った。今後、詳細設計を実施して無電柱化の工事に繋げていく。

駅前広場開発が待たれる東武動物公園駅東口

問 **街区公園等草刈・樹木管理委託料の内訳は。**

答 薬剤散布や高木の選定などの樹木管理委託として東武緑地に1001万円、除草・草刈などの委託としてシルバー人材センターに約460万円となっている。

問 **道路側溝清掃業務委託において、どのような場合に清掃を行うのか。**

答 冠水被害が生じた場所や側溝の断面に対して堆積物が多い場所は、職員が現場を確認の上、優先的に清掃する。

決算特別委員会

すべての公民館で利用者が減少

教育推進課

問 **公民館管理運営事業ですべての公民館で利用者が減少しているが、町としての考察は。**

答 高齢化などで公民館利用団体の解散などが増えている。予約しやすいシステムなどを考慮していく。

問 **いじめ不登校対策として、いじめの把握は充分か。また、ネットによるいじめは発生していないか。**

答 学校毎に違いはあるが、アンケートを月に1度または学期に1度実施して把握している。ネットによるいじめは発生していないと報告を受けている。

公民館の利用者の増加に努めたい

問 **学校給食運営管理事業の施設修繕料の内容は。**

答 トイレの自動水栓の修理、ボイラー1台の部品交換、排水施設の排気ダクトの修繕などになっている。

問 **学校給食費の小中学校における、一人当たりの1年間の給食費はいくらか。また、無償化の考えは。**

答 小学校は45100円、中学校は52800円になっている。

無償化については、予算が高額になるため町独自としては難しい。補助金など国の動向を注視していく。

特別会計決算

国民健康保険
歳入 33億4,237万円　**歳出** 32億6,435万円

介護保険
歳入 33億4,524万円　**歳出** 32億1,788万円

後期高齢者医療
歳入 6億2,892万円　**歳出** 6億2,514万円

国民健康保険

〈賛成11、反対2で可決〉
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、2年間据え置きとなっていた税率などの改正を行いました。

主な質疑

問 **国保には所得の少ない方々が多く加入しており、重い国保税となっているので、一般会計からの繰入れが必要ではないか。**

答 法定外繰入れについては、令和8年度までには解消していくことが町に求められているのが現状である。

反対討論
丸藤 栄一 議員
①国保税は高過ぎて払えない状況なので、一般会計より繰入れを増やし、国保税を引き下げること。
②子どもに対する均等割を非課税にすること。

介護保険

〈賛成11、反対2で可決〉
要介護者には適切な介護サービスが受けられるよう必要な保険給付を行いました。要支援者には予防給付、介護予防・日常生活支援サービスの提供を行いました。

賛成討論
小島 あけみ 議員
要介護者には必要な保険給付を行い、要支援者に対しては予防給付、介護予防・日常生活支援事業によるサービスの提供が行われたので賛成する。

反対討論
丸藤 栄一 議員
サービス利用料では、一定所得以上の利用者の利用料の負担割合が3割まで引き上げられた。それに加え、低所得者の補足給付からの締め出しも行われた。

賛成討論
塚村 香織 議員
介護予防活動に力を入れた事業や、認知症の早期発見につながる事業、介護入門講座を実施し、正しい知識の啓発など、高齢者支援を推進しているので賛成する。

反対討論
佐藤 将行 議員
予算と決算との乖離の大きいものが多数見られる。認知症高齢者見守り事業では、GPS対応が2件しかない。端末も使い勝手が悪く、事業を検証していない。

賛成討論
丸山 妙子 議員
高齢者の買物支援と見守りを目的とした移動販売事業では、コースやルート変更について、町民の方からも非常にありがたいという声を聴くので賛成する。

後期高齢者医療

〈賛成12、反対1で可決〉
主な財源の保険料収入は1171万円の増。未納被保険者には催告、納付相談で滞納の解消に努めました。

反対討論
丸藤 栄一 議員
所得が少ない中、預貯金まで差押え。2022年10月からは一定所得以上の方の窓口負担が1割から2割へと増えた。

下水道事業

〈賛成11、反対2で可決〉
●収益的収入（税抜き）
11億1610万円
●収益的支出（税抜き）
10億4006万円

反対討論
丸藤 栄一 議員
下水道普及率は76％面整備は完了し、事業債残高も年々減少する中、7603万円の純利益。消費税2233万円の転嫁に反対する。

水道事業

〈賛成11、反対2で可決〉
●収益的収入（税抜き）
7億8817万円
●収益的支出（税抜き）
7億69万円

反対討論
丸藤 栄一 議員
町の水道料金は県平均より高い。8126万円の純利益を上げ、内部留保金も約11億円。水道料金を県平均まで引き下げること。

賛成討論
野原 洋子 議員
経営環境は大変厳しい中で、宮東配水場において第2配水池築造工事に着手し、無停電電源装置更新工事を実施したので賛成する。

反対討論
佐藤 将行 議員
町の水道料金が高い。管路経年化率は増加し、更新率は減。収益が増収になったにも関わらず、改善が一向にされていない。

一般会計補正予算

小・中学校校舎外壁の改修など

賛成11、反対2で可決

百間中学校の校舎

既定の予算額に7億322万円を増額し、予算の総額を141億3704万円とするものです。

補正予算の主な内容	補正額
令和５年度決算剰余金の基金への積立	4億3,761万円
人事異動や共済組合負担金率の確定など	▲1,565万円
新型コロナウイルスワクチン接種に係る国庫支出金の返還	2億5,661万円
小中学校外壁の改修など	1,755万円

主な質疑

問 **東小学校と百間中学校のみ選んだ理由は。**

答 東小と百中が実施した点検の中で指摘箇所が多く、一番劣化が進んでいた。

問 **残りの小・中学校をどのように進めていくのか。**

答 須賀小学校を除いた、須賀中学校や前原中学校、百間小学校、笠原小学校、給食センターを来年度あるいは再来年度の当初予算で設計について予算化していきたいと考えている。

問 **小・中学校校舎の外壁改修にどれぐらいの期間を要するのか。**

答 今年度から令和9年度の4か年を目標として行っていきたいと考えている。

問 **校舎の外壁改修工事以外の改修はないのか。**

答 今後、体育館についても検討していかなければいけない。

問 **小・中学校給食用食器の追加購入は何枚か。**

答 約900枚を予定している。

問 **地下道防犯カメラの緊急修繕ということだが、画像が映らなくなった原因は。**

答 今回の故障については、いたずらとか故意的なものではなく、劣化という観点からカメラが動かなくなってしまったので、交換をするものである。

賛成討論

野原 洋子 議員

マイナンバーカード関連には反対であるが、小・中学校外壁等改修工事設計業務は生徒・職員の安全のため、早急に実施が必要であると考え、賛成する。

反対討論

丸藤 栄一 議員

小・中学校の外壁の改修工事については、早く進めること。マイナカードの情報に関する中間サーバー更新の補正予算には反対する。

賛成討論

塚村 香織 議員

埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金として採択されたことによる財源更正と、東小学校と百間中学校の校舎外壁修繕工事は必要であり、賛成する。

一般会計補正予算（専決処分）

〈全会一致で可決〉

落雷の被害を受けた役場庁舎防火設備を緊急に修繕する必要が生じたことから、令和６年８月７日付で一般会計補正予算の専決処分をしました。内容は、庁舎管理事業において、自動火災報知器設備や排煙窓などの修繕工事に係る経費を計上し、財源は、財政調整基金からの繰入金を充てたものです。

国民健康保険特別会計補正予算

〈全会一致で可決〉

既定の予算額に 7,945 万円を増額。人件費及び国民健康保険事業費納付金の確定による補正のほか、令和５年度の県支出金などの超過交付に伴う一般会計への返還金が生じたことからの増額が主な内容です。

介護保険特別会計補正予算

〈全会一致で可決〉

既定の予算額に１億 2,666 万円を増額。職員の人事異動などによる人件費補正のほか、令和５年度決算の確定に伴う決算剰余金の基金への積立て及び令和５年度国・県負担金の精算に伴う返還金などの増額が主な内容です。

後期高齢者医療特別会計補正予算

〈全会一致で可決〉

既定の予算額に 507 万円を増額。人件費補正のほか、埼玉県後期高齢者医療広域連合への納付金の増額が主な内容です。

マイナンバーカードの活用

「マイナンバーカードの活用による行政手続きの利便性の向上等を盛り込んだ」議案が提出されました。

国民健康保険条例の一部を改正

〈賛成８、反対５で可決〉

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律による国民健康保険法の一部改正に伴い、令和６年12月２日から同法第９条に規定する被保険者証、被保険者資格証明書が廃止されることから、改正を行うものです。

紙の保険証は、なくなる！

主な質疑

問 マイナ保険証にしない場合、資格証はこの先ずっと出す考えか。

答 申請によらず資格確認書を発行することになる。１年間という期限を設けるが、その後については、国の方針が決まっていない。

反対討論

丸藤 栄一 議員

個人情報の流出する危険があり、さらにトラブルが相次ぐマイナンバーカードの活用はやめるべきである。

反対討論

九山 妙子 議員

資格証を出すということだが、どうなるか分からない。患者の視点に立って保険証を残すことを求める。

反対討論

佐藤 将行 議員

現行の保険証で大きな問題があったからではない。いまだにマイナンバーカード自体のトラブルの話を聞く。

財産の取得

〈全会一致で可決〉

平成27年度、令和元年度、令和２年度及び令和５年度に行った、教師用指導書などの売買契約について、予定価格７００万円以上の財産の取得に該当していたにもかかわらず、議会の承認を得ずに契約を締結したことが判明したことから、当該契約の追認を求める議案が提出されました。

●原因と経過

教師用指導書などは、通常４年に一度更新、廃棄されるものであることから、消耗品として取り扱っていたため、その購入にあたり議会の議決が必要となる財産であるとの認識がなかったもの。他の自治体における同様案件の新聞報道などを受け判明した。

●再発防止策

財産の取得基準について改めて確認、周知を行うとともに、契約事務手続を進める際のチェック体制を強化し、再発防止に努める。

人事

〈賛成多数で同意〉

教育委員会委員

任期　令和6年10月1日から
令和10年9月30日

大和田（おおわだ）　由梨（ゆり）　氏

固定資産評価審査委員会委員

任期　令和7年1月17日から
令和10年1月16日

岡野（おかの）　裕美子（ゆみこ）　氏

人権擁護委員

任期　令和7年4月1日から
令和10年3月31日

稲山（いなやま）　貞幸（さだゆき）　氏

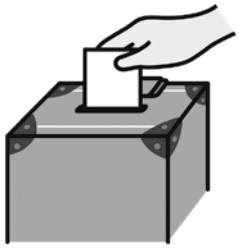
選挙管理委員会委員4名・補充員4名が指名推選により当選

選挙管理委員会委員

島村（しまむら）　惠子（けいこ）　氏　（宮代）
岡村（おかむら）　信夫（のぶお）　氏　（東）
宮下（みやした）　美哉子（みやこ）　氏　（東姫宮）
中村（なかむら）　豊（ゆたか）　氏　（須賀）

選挙管理委員会補充員

渋谷（しぶや）　清信（きよのぶ）　氏　（須賀）
小島（こじま）　久美子（くみこ）　氏　（中）
西田（にしだ）　光一（こういち）　氏　（和戸）
吉澤（よしざわ）　久美子（くみこ）　氏　（東粂原）



請願第2号

令和6年度6月議会のインターネット録画中継において、佐藤議員の発言の一部がカット編集された事象があり、その削除された発言部分というのは「参考までに中学校時代の生徒会長が町長、副会長が中村教育長、一般の生徒が田島さんと百間中学校のお友達内閣ですよね」といった趣旨のもので、当日傍聴に来ていた多数の町民は全員聞いているものの、様々な理由で傍聴に来られなかった方々が後日、インターネット録画中継を視た際には、事実と違う情報を与えられたことから、実際に傍聴した人との間に大きな差異が生じるということが起こったが、通常インターネット録画中継というものはそもそも質疑答弁のやりとりや議場のありのままの様子をすべて公開することによって、公平性且つ「知る権利」が保たれるのであるところ、今回、田島議長の言い分によると、自ら削除させた議会議事録との整合性をとるため、その後インターネット中継を編集させたと述べられているとのことで、この議長の言い分は佐藤議員本人から確認済みであるものの、あろうことか、当事者である佐藤議員に対してすら、削除の件での話し合いが一切行なわれていないという事実もあり、このような一方的な議長権限の強権行使若しくは濫用も大問題でとなるところ、この結果、傍聴に来られなかった人々にとっては、編集し削除されてしまった部分について、この先知ることが出来ないままとなってしまい、これはまさに憲法21条により保証された表現の自由における一内容たる”知る権利”や、宮代町まちづくり基本条例の趣旨等への侵害にあたる行為にがいとうすることから、これらのことを踏まえ、憲法上の基本的人権や宮代まちづくり基本条例の趣旨を誠実に理解し、それらの精神に基づき誠心誠意議論することで、削除前の正確なデータを改めてインターネット録画中継にアップすることを求める件

〈賛成1、反対11、退席1で不採択〉

賛成討論　佐藤 将行 議員

中継は編集をしないということが大前提である。それを、議長が独断でカットしていること、町民の「知る権利」に対する侵害で検閲に同視し得る。さらに、条例などによる明文による根拠すらないので賛成する。

反対討論　合川 泰治 議員

取消を命じられた発言は、法的効果からなかったものとして取り扱うため、議事録や録画中継から削除される。これは他の議会でも同様である。録画中継のみそのままという主張は受け入れられない。

（仮称）宮代町議会ハラスメント防止条例制定に向けた取り組み

条例の制定・懲罰特別委員会

令和6年4月22日に議員提案による（仮称）議会ハラスメント防止条例制定のための、第1回勉強会を開催。町議会議員によるハラスメントに関する職員及び議員アンケートの実施を決定。他市町に「ハラスメント防止条例」制定についての視察を検討。

令和6年5月20日に第2回勉強会を開催。アンケートの確認、共有。議員からのハラスメントを受けたことがある↓職員26名、議員8名。ハラスメントを受けているところを見たことがある↓職員78名、議員10名。

令和6年6月17日、第3回勉強会を開催。ハラスメント条例の名称、議員研修会の開催を検討。

令和6年7月2日、3日に議会運営委員会・議会広報委員会合同研修にて「水戸市議会ハラスメントの根絶に関する条例」視察。水戸市議会改選後、議会に新人議員が増えたこともあり、ハラスメントがあってからでは遅いのではと考えて条例の制定の運びとなったとのことだった。当町は現在ハラスメント問題が起きているため、水戸市議会を参考にして早急に制定に向け審議する。

令和6年7月25日、第4回勉強会を開催。その後、議会事務局職員として通算27年の経歴をもつ茨城県取手市総務部情報管理課長　岩﨑弘宜（ひろまさ）氏を講師にむかえ「議会ハラスメント防止条例の制定について」議員研修を開催。多様なハラスメントについて学んだ。

令和6年9月30日（仮称）宮代町議会ハラスメント防止条例策定特別委員会設置を全会一致で可決。

「宮代町議会ハラスメント防止条例（仮）」制定に向けたアンケート調査結果（一部抜粋）

問1 あなたは、宮代町議会議員からハラスメントを受けたことがありますか。

職員▶ ある…26　ない…146　**議員▶** ある…8　ない…5

問2 あなたは、宮代町議会議員または、宮代町職員が、宮代町議会議員からハラスメントを受けているのを見たことがありますか。

職員▶ ある…78　ない…94　**議員▶** ある…10　ない…3

懲罰特別委員会

令和6年9月24日、佐藤将行議員の9月17日の決算特別委員会における態度や不適切な発言に対し、懲罰を求める動議が出され、懲罰特別委員会が設置された。

令和6年9月26日、懲罰特別委員会において佐藤将行議員に対して「陳謝文」の朗読が賛成多数で可決。

令和6年9月30日、佐藤将行議員「陳謝文」の朗読が賛成多数で可決。議長より佐藤将行議員に「陳謝文」の朗読が命じられ、陳謝した。

陳謝文

私は、9月17日の決算特別委員会における会議中に、議会の秩序維持と品位保持に反して、「机を叩く」、「無断で離席する」、「スマホを使用する」という行動や議会事務局職員に対して、「ふてぶてしい」、「ばか」、「さわるなって言ってるだろ」と言う不穏当な発言により、議会の品位を保持し、秩序を守るべき議員の職責に顧みて、誠に申し訳ありません。

このたびの私の言動は、冷静な審議が求められる議会において、各議員の感情を乱す挑発的な発言に該当するおそれもあり、それらの行為を慎むことは、品位を求められる宮代町議会の一員として当然に遵守しなければならない規律事項であると認識するものであります。今後、二度と議会の規律を乱すことのないよう、この場においてお約束いたします。

最後に、この度の私ごとにおいて議員の皆様に多大な時間を割いていただくに至ったことは、深くお詫び申し上げるものであります。

ここに深く反省し、誠意を披瀝して陳謝します。

令和6年9月30日

佐藤 将行

8月1日発行の議会だより131号において、佐藤将行議員の一般質問が白紙になった件について

内容について広報委員会で一部訂正を求めたが、本人が訂正を拒否し、白紙掲載となった。

町の考えを問う！

一般質問とは、各議員が町の政策に対し、その執行の状況や将来の方針などについて報告を求めたり、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質問することです。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたダイジェストです。詳しくはQRコードより録画配信をご覧ください。

一般質問項目一覧

P15

丸山妙子 議員
①100年先を見据えた須賀小学校地域拠点施設の整備は
❷ごみ減量化に向けての対応は
③今後の公共交通の方向性は
❹リフォーム補助金の活用

丸藤栄一 議員
①県の水道料金の値上げによる影響
❷高齢者の補聴器購入に補助を

P16

塚村香織 議員
❶当町のカスタマーハラスメント対策は
❷山崎地先交差点の安全対策を
❸実情に沿った防災対策の推進を

川野武志 議員
❶斑点米カメムシ類の防除対策
❷新しい村
❸和戸駅周辺整備

P17

野原洋子 議員
❶安全性に疑問がある新型コロナウイルスワクチンに対する町の見解と対応は
❷公設宮代福祉医療センター六花の診療体制の改善は
③進修館駐車場の有料化は

土渕保美 議員
❶友好都市
❷姫宮駅西口周辺整備事業
❸スポーツフェスティバル

P18

佐藤将行 議員
❶自転車乗車時のヘルメット着用
❷税金浪費問題と事業関連文書
❸日工大サイエンスプロジェクト
❹職員による傷害事件と町長の法令に対する理解
⑤町内の公共交通問題

合川泰治 議員
❶町職員の副業を可能に
❷中学校の学校開放（土日）を
③須賀小学校の建設を町内商工業者で
❹高齢者等のタクシー助成券の枚数上限の撤廃を
❺町営自転車駐輪場に屋根の設置を

P19

泉伸一郎 議員
❶避難所運営の環境整備
❷災害でのトイレ対策
❸浸水被害対策
❹新型コロナ定期ワクチン接種への取組

福澤和美 議員
❶宮代町土地開発公社
❷会計年度任用職員
❸須賀小学校のＩＣＴ設備
❹宮代町クリスマスマーケット開催

P20

小島あけみ 議員
❶共生社会の実現を目指して
❷聴覚機能の衰え（ヒアリングフレイル）の周知を

鈴木次男 議員
❶自治会の存続
❷喫煙所
③進修館のブドウの木

P21

金子正志 議員
❶水道料金・下水道料金
❷法人住民税
③普通交付税の推移
④小売業年間販売額と製造品出荷額
❺人口減少の対策は
⑥新たなマスタープランの立案、あるいは見直しを

一般質問は９月４日、５日、６日の３日間で行いました

※項目一覧の順番は抽選順です。
※白抜き数字は掲載された質問、それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。

ごみ減量化に向けての対応は

水分量の減少は減量化につながる

まるやま たえこ
丸山 妙子 議員

※町民及び事業者お一人おひとりが自分事として取組む

問 **減量化への取組は。**

答 **環境資源課長**

①生ごみの水分を減らす必要性について周知する。生ごみ処理機への助成継続や食品ロス対策も重要であり、取り組みを進めていく。

②令和４年度食品ロス量は、国民全員が毎日ご飯茶椀１杯分を捨てていることを意味する。一人あたりの年間食品ロス量42kgの重り体験の機会や、「宮代町食品ロス削減推進協力店」制度を導入。食品ロス削減推進キャラクターの親しみやすい「すてずん」を活用した啓発を引き続き行う。

③ふれあい収集については、集積所までごみを出せない町民への支援が、ごみ処理を適正かつ確実に行うために必要である。対応可能件数という制限は設けず、必要があれば、適切に対応する。

店舗・住宅リフォーム事業補助金

問 **直ぐに予定額となり使えない。補助金額の増額を。**

答 **産業観光課長**

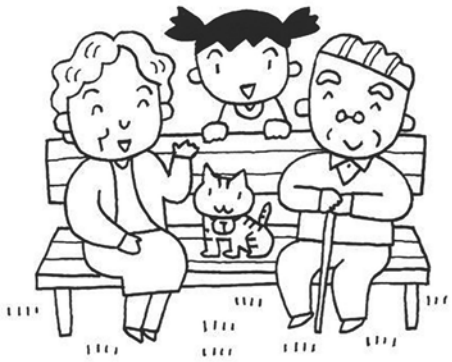
５月20日で申請が３００万円に達し、ニーズの高さを認識している。予算の有効活用に努める。

※生ごみ処理機（Island land ＨＰより）

高齢者への補聴器の購入補助を

ニーズ調査の結果を受けて考える

がんどう えいいち
丸藤 栄一 議員



補聴器をつけて、生き生きと元気に

問 **年齢を重ねると耳が聞こえにくくなるのは、誰にでも起こり得ること。２０１７年に国際アルツハイマー病協会は「難聴への対策を早めに行うことにより、認知機能の低下は遅らせることができる」と発表。**

当町でも高齢者の認知症予防のために、補聴器購入に対して補助をすべき。

答 **健康介護課長**

補聴器の認知機能低下の予防効果については明らかになっていないことや、過去に町民からの要望などもない。

問 **厚生労働省が２０２０年度に「難聴高齢者の社会参加等に向けた補聴器利用と効果に関する研究」と題した調査で、宮代町の結果は。**

答 **健康介護課長**

宮代町は調査の対象になっていない。

問 **健康長寿を目指し、誰もがいつまでも、社会参加ができるよう、補聴器購入補助を取り組む考えは。**

答 **町長**

宮代町も高齢化率が非常に高くなってきているので、大事な問題。２０２５年度に実施する介護予防・日常生活圏域のニーズ調査の結果を受けて考えていきたい。

カスタマーハラスメント対策を！

組織でしっかり対応していく

暴力行為、侮辱発言、SNSの誹謗中傷はレッドカード！

つかむら　かおり
塚村 香織 議員

問 **全職員対象のハードクレーム対応研修などを行ったとのことだが、成果は。**

答 総務課長

事務手続き上の苦情には適切に対応し、理解を頂けている。極めてまれな悪質クレームへの対応には、職員の精神的負担も大きく業務に支障をきたしている。相談体制を整え職員の心身をケアし、関係機関と調整している。10月からは対策の一環で職員の名札を名字のみにする。

交差点の安全対策

問 **もとむらクリニック近くの交差点は事故が多発している。地区から陳情もあり、注意喚起の道路標示など対応頂いたが、その後も事故が起きている。他に対策はできないか。**

答 町民生活課長

注意を引き付けるような表現の看板を早急に設置する。

循環型のトイレ設置

問 **災害時に一番困るのはトイレ。平時から活用できる循環型トイレを公共施設に設置する考えは。**

答 町民生活課長

水や排水が不要で災害時に期待できる。有用性を検討する。

斑点米カメムシ類の防除対策は

来年に向け助成措置を検討する

かわの　たけし
川野 武志 議員

JA南彩が実施したドローンによる薬剤散布

問 **来年に向けた、今後のカメムシ類の防除対策と町の関わり方は。**

答 産業観光課長

色彩選別機の導入は補助対象。ドローンなどによる薬剤散布への補助はないため、助成措置を検討する。

問 **補助金の創設と予算措置は、実施してもらえるということで良いのか。**

答 町長

薬剤散布の成果は出ているとのことなので、その辺りを鑑み対応していく。

新しい村魅力アップ

問 **魅力アッププランに基づく施設などの改修計画は。**

答 産業観光課長

現在、改修の必要な個所や改修方法などを検討している。

和戸駅周辺整備

問 **西側地区の農用地区域からの除外に向けた今後の取組みは。**

答 産業観光課長

県との事前調整が整えば、令和7年3月の認可を目指す。

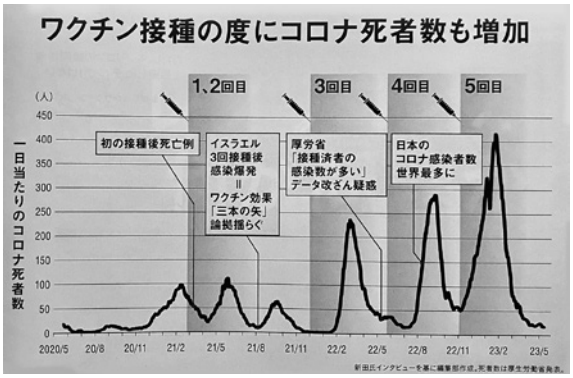
問 **残土の山の解消は。**

答 副町長

解消に向けたタイミングは、単独で考えるのではなくて、和戸駅西口の開発などと、セットで考えていく。

ワクチンのデメリットの周知は
副作用について周知する

野原（のはら） 洋子（ようこ） 議員



※

コロナワクチンの効果はあったのか？

問 副作用による健康被害の訴えがある新型コロナウイルスワクチンのメリット・デメリットを周知しているか。

答 健康介護課長

秋冬の定期接種の情報が国や製薬会社から示されたら、ホームページに掲載。

問 コロナ前から直近の当町での死亡者数の推移は。

答 健康介護課長

令和元年334件、令和2年357件、令和3年358件、令和4年429件、令和5年437件。

問 秋冬の定期接種はレプリコンワクチンを使用するのか。

答 健康介護課長

現在はまだ未定。

問 治験された国で認可されず、世界では日本のみ認可されたレプリコンワクチンは安全性に問題があると思われる。このようなデメリット情報を町民に周知するのか。

答 健康介護課長

ワクチンの副作用についてはホームページ、ラインで周知する。

問 公設宮代福祉医療センター六花の診療体制の改善は。

答 健康介護課長

診療時間を延長し、職員の接遇の改善に努める。

※月刊「ザ・リバティ」2024年11月号より。死者数は厚生労働省発表

姫宮駅西口周辺整備事業の進捗（しんちょく）は
開発を周辺地域にも拡大していく

土渕（つちぶち） 保美（やすみ） 議員

ホームセンター系の企業が出店検討の意向を示した

問 北春日部への町道252号線の延伸、並びに西口ロータリー付近の景観整備の進捗状況は。

答 まちづくり建設課長

北春日部方面への延伸区間は街路事業の認可を得て事業を進める中で、ホームセンター系の企業が出店検討の意向を示した。出店が実現できるように関係機関と協議し、開発を周辺地域にも拡大する。西口ロータリー付近の景観整備は今年度から着手する。

友好都市の締結を

問 各地で大災害が発生している。宮代町は現在、友好都市を結んでない。災害が起きた場合の課題は。

答 町民生活課長

広範囲に被害が及ぶ場所、国や県が主導となり、いち早く支援が受けられるかが課題。友好による協定などは対策のひとつであるため、防災を含めた友好都市について検討する。

スポーツフェス

問 参加者の減少への対策は。

答 教育推進課長

昨年を上回る体験ブースを設けるとともに、新たに小中学生と高齢者向けにチラシを配布した。

半年間不法駐車の責任追及は？

当時としては最善の対策を取った

指定管理者の知り合いの半年間不法駐車に、町は追求せず！

佐藤（さとう） 将行（まさゆき） 議員

問 半年間不法駐車の事件は、多くの批判が町民から噴出している。これは指定管理者MCAの業務怠慢が原因であるのに、町はなぜ追求を行わないのか。

答 町民生活課長
今回はレアケースであり、当時としては最善の対策を取った。

問 法改正により、自転車もヘルメット着用が求められるようになり、補助を行う自治体が増えている。当町の対応は。

答 町民生活課長
啓発を引き続き行う（補助予定なし）。

問 職員と町民とのトラブルで、町民からの話は聞いたのか。

答 町長
町民との話はしていない。

税金の無駄遣い

問 日工大での校外授業で移動の際、大学近隣に住む生徒まで60万円程予算を使いバス移動とした件につき、再検討は。

答 教育推進課長
現時点での変更は考えていない。

問 新井町長からの6年ほどで、一般会計はなんと1・5倍もの増となった。無駄削減のための検証をなぜ行わないのか。

答 企画財政課長
議会審議された。

町職員の副業を可能に

条件を整備して認めていく

合川（あいかわ） 泰治（たいじ） 議員

宮代町にも働き方改革をファーストペンギンに期待

問 当町で副業を認めることへの見解は。

答 総務課長
地域貢献が期待できる活動に限り認めるなど、一定の条件を整備した上で認めていく。

問 中学校の校庭などの学校開放を（土日と休日）。

答 教育推進課長
すべての中学校で同様に開放するのは難しい。使用状況が少ない学校では、学校側との調整や課題の解決が前提になるが、可能な範囲で開放していきたい。

問 高齢者等タクシー助成券の枚数制限の撤廃を。

答 健康介護課長
枚数制限の理由は、定期的に通う病院や買物などに行くための移動手段の補助であり、遠出に使用することを想定していないためである。
仮に制限を撤廃した場合、一度に大量の助成券を使用するケースが想定される。
その場合、本来の移動手段から逸脱してしまうため、制限の撤廃は考えていない。

問 町営駐輪場に屋根の設置を。

答 町民生活課長
姫宮駅西口は、構造上安全基準を満たせるか確認する。

避難所での女性職員の登用を！

女性目線で課題や備えを充実へ

いずみしんいちろう
泉 伸一郎 議員

避難所開設には女性職員の起用で、きめ細やかな支援を

問 防災対策と女性防災担当職員の登用は。

答 町民生活課長

危機管理担当職員が自主防災組織の防災訓練に出向き、マイ・タイムラインの普及と自助・共助の必要性を周知している。女性目線の運営も重要であり、女性職員の起用を検討していく。

災害時のトイレ

問 災害時でのトイレ対策と備蓄状況は。

答 町民生活課長

避難所におけるトイレ対策は、非常用簡易トイレの利用と発災後数日間の初動期に仮設トイレの利用、さらにはマンホールトイレの設置を想定している。備蓄では、非常用簡易トイレ3万回分を確保。

浸水被害対策

問 浸水被害対策での排水設備の向上は。

答 まちづくり建設課長

県事業での姫宮落川の河川改修を実施。道路側溝のグレーチング蓋への交換や浚渫を実施している。

問 新型コロナワクチン接種への取組は。

答 健康介護課長

ワクチン接種を希望する方を対象に、定期接種として実施。接種期間は令和7年1月31日まで。

クリスマスマーケットの開催を

新たなテーマとして検討していく

ふくざわ かずみ
福澤 和美 議員

クリスマスマーケットでクリスマスを楽しもう！

問 スキップ広場をツリーやイルミネーションで飾り、クリスマスマーケットを開催してはいかがか。

答 産業観光課長

現在開催のイベントを計画する際に、新たなテーマとして検討する。

土地開発公社

問 土地開発公社の解散は。

答 企画財政課長

解散をすると再度認可を受けることが非常に難しい。慎重な検討が必要。

会計年度任用職員

問 現在、毎年公募で面接しているが、次年度も希望があれば、公募の面接によらず引き続き任用する考えは。

答 総務課長

令和7年の採用より、翌年度も同一の業務で本人の希望があり、勤務実績が良好である場合、公募によらない任用を行っていく。

須賀小学校のICT環境化

問 ICT（情報通信技術）設備の進捗は。

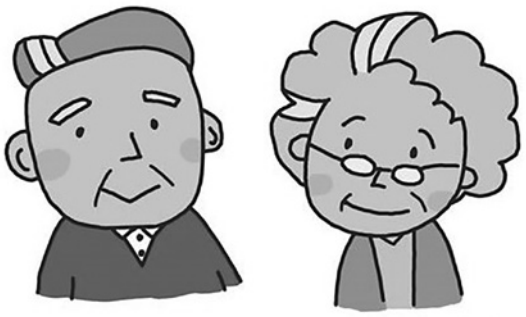
答 教育推進課長

専門的な見地からアドバイスをもらいながら、今後の教育に求められるICT環境を検討していく。

共生社会の実現をめざす施策は

認知症についての理解を広める

小島（こじま） あけみ 議員



誰もが自分らしく暮らし続けられる社会に

問 当町における認知症施策についての考えは。

答 健康介護課長

相談窓口の周知及び充実を図っていく。また、多くの方に参加してもらう認知症サポーター養成講座の開催を検討していく。

問 認知症の人に対する適切な接し方を身につけるケア技法「ユマニチュード」を導入する考えは。

答 健康介護課長

実施している先進例として、認知症の基礎知識とユマニチュードを一緒に学ぶ機会を提供している事例があるので、参考にしながら検討を進めていく。

ヒアリングフレイル※の周知

問 聴覚機能などの衰えは、認知症やうつ状態のリスクが高まると言われている。早期に見つけるための啓発チラシなどの作成や、聴覚チェックのアプリの活用の考えは。

答 健康介護課長

難聴にならないために早期発見、早期治療が必要となるので、周知方法について検討していく。アプリの利用についても今後、検討していきたい。

※ヒアリングフレイルとは…聴覚機能の低下による身体の衰え（フレイル）の一つで、耳の衰弱を意味します。

地区・自治会を存続させるには

全力でバックアップする

鈴木（すずき） 次男（つぎお） 議員

クリーン古利根清掃活動

問 町と地区・自治会との関係は。

答 町民生活課長

町は地区・自治会の活動を支援し、地区・自治会は町の事業や行政事務に協力するなど、住みよい地域づくりのためのパートナー関係である。

問 自治会の加入者を増やすために、どのような活動をしているか。

答 町民生活課長

日頃から顔の見える関係が築けられれば、住みよいまちづくりにつながる活動ができる。減っている理由の中には、活動が大変で負担が大きいとの理由がある。実施に当たっては、他地区の事例を紹介するなど、全力でバックアップする。

喫煙所の設置を

問 改正健康増進法の受動喫煙防止対策では、閉鎖型ならば建物外に設置できる。令和5年度たばこ税は、1億8800万円である。ユニット式の喫煙所は、300万円ぐらいで設置できる。町の考えは。

答 町長

喫煙所の設置については、昨年12月議会に議員からも、必要ないと意見をもらっている。

出生数・若年女性人口減少の対策は

町の魅力発信に取り組んでいく

金子 正志（かねこ ただし） 議員

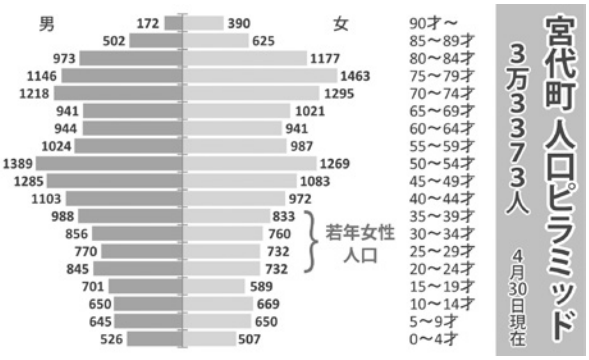
問 町の出生数、若年女性人口（20～39歳）は下がり続けている。対策は。

答 企画財政課長

出生数は、10年後に約150人、20年後には150人を割り込むと推計。

若年女性人口は、10年後に約380人減少、20年後には約600人減少すると見込まれる。

子どもを産み育てやすい環境を整える。



出生数は昭和50年に458人、今は180人に減少。さらに…

法人住民税の改善

問 宮代町は駅が3つあるにも関わらず、法人住民税は極端に低い。対策は。

答 税務課長

近隣5市2町で一番低い。法人数の差によるところが大きいと考える。法人数の増加が見込まれる様々な事業を展開している。

水道・下水道料金

問 県水を令和8年4月から23％値上げする。影響は。

答 まちづくり建設課長

町水道経営に大きな影響を及ぼす。水道料金の改定率についても検討し、案としてまとまったら公表する。

下水道事業も、令和8年度までに改定率について検討を行う予定である。

町村議会で県内初のハラスメント防止条例制定へ

田島 正徳（たじま まさのり） 議長

ハラスメントは絶対ダメ！

宮代町議会は、皆様からの直接選挙で選ばれた議員で構成される議決機関です。その自覚と誇りを持ち、公正な議論を尽くし、町政の発展と町民の皆様の生活と福祉の向上のため、一丸となって取り組んでいます。

また、議員による職員へのハラスメント、また議員による議員へのハラスメントは、町民の信頼を失墜させる行為と認識しています。

議員一人ひとりが、自らの良識と責任、高い倫理性をもって公正な政治活動を行うとともに、町民の皆様の信頼を裏切るような行為がないように、10月からハラスメント防止条例策定の特別委員会を設置し、12月定例会において議員提案として条例を制定する予定です。

5月、役場全職員と全議員対象に、議員によるハラスメント状況を把握する為に、アンケート調査を実施しています。条例制定に先立ち、勉強会を4回実施し、また7月25日には取手市役所岩﨑弘宣課長による「議会ハラスメント防止条例の制定について」の議員研修を実施しました。

今後もより一層の議会改革を積極的に進めて参ります。

議案に対する各議員の賛否

○賛成　●反対　退 退席　― 議長は表決に加わらない

議案番号	議案	主な内容	議決結果	無会派 6人						公明党 2人		令和新風の会 5人					議長
				佐藤将行	丸藤栄一	九山妙子	福澤和美	野原洋子	金子正志	小島あけみ	泉伸一郎	鈴木次男	合川泰治	塚村香織	土渕保美	川野武志	田島正徳
37	専決処分の承認を求めること	☞ P11	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
38	令和５年度宮代町一般会計歳入歳出決算の認定	☞ P2 ～ P8	認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
39	令和５年度宮代町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	☞ P9	認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
40	令和５年度宮代町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	☞ P9	認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
41	令和５年度宮代町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	☞ P9	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
42	令和５年度宮代町水道事業会計利益の処分及び決算の認定	☞ P9	認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
43	令和５年度宮代町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	☞ P9	認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
44	宮代町税条例の一部を改正する条例	地方税法などの改正に伴い、一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
45	宮代町国民健康保険条例の一部を改正する条例	☞ P11	可決	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	―
46	宮代町水道事業給水条例の一部を改正する条例	水道法などの改正に伴い、一部改正	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
47	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更	医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、規約変更	可決	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	―
48	町道路線の認定	字川端地内の開発行為に伴い町に帰属された開発道路を町道路線に認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
49	宮代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めること	☞ P12	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
50	宮代町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること	☞ P12	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
51	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	☞ P12	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
52	令和６年度宮代町一般会計補正予算（第２号）	☞ P10	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
53	令和６年度宮代町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	☞ P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
54	令和６年度宮代町介護保険特別会計補正予算（第１号）	☞ P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
55	令和６年度宮代町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	☞ P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
56	令和６年度宮代町水道事業会計補正予算（第１号）	収益的支出を 4,881,000 円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
57	令和６年度宮代町下水道事業会計補正予算（第１号）	資本的収入を 1,6203,000 円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
58	財産の取得	平成 27 年度小学校の教科用図書の改訂に伴い教師用教科書及び指導書を更新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
59	財産の取得	令和元年度小学校の教科用図書の改訂に伴い教師用教科書及び指導書を更新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
60	財産の取得	令和３年度中学校の教科用図書の改訂に伴い教師用教科書及び指導書を更新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
61	財産の取得	令和５年度中学校の教科用図書の改訂に伴い教師用教科書及び指導書を更新	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
第１号 議員議案	（仮称）宮代町議会ハラスメント防止条例策定特別委員会の設置	☞ P13	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
第２号 請願	町民の信頼を回復するために、議会中継の編集等を行わないように求める	☞ P12	不採択	○	退	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	―

先進自治体から学ぶ

議会運営委員会、議会広報委員会の合同視察研修（7月2・3日）は、ハラスメント条例制定・議会だより作成の先駆的な自治体へ伺い、学んできました。

栃木県 高根沢町（たかねざわまち）

人口 28,757人※

視察テーマ **「議会だより たかねざわ」の編集等について**

栃木県 那須町（なすまち）

人口 23,883人※

視察テーマ **読みやすく、分かりやすく、親しまれる議会広報**

議会広報委員会▶ 4名参加

●視察研修の目的

町民の手に取ってもらえる議会だよりを作るため、今までに広報コンクールで賞を獲得した高根沢町・那須町で、表紙の写真の撮り方や誌面作りのコツを学ぶ。

●高根沢町では

表紙には、子どもたちの笑顔の写真を使用したり、各質問に対して町民からの意見を一言頂き、顔写真を載せるなど、知り合いが掲載されることで、町民の方が見たくなるような工夫が参考になりました。

●那須町では

読みやすく、分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指し、縦書きから横書きへリメイクするために、右綴じから左綴じに変更するなど、果敢に取組んでいました。

両町とも表紙には、子どもの写真へのこだわりが印象的です。また、広報誌を身近に感じてもらうため、町民の意見や顔写真の掲載やQRコードを多用して、情報をもっと詳しく知らせていることが参考になりました。

栃木県 高根沢町（たかねざわまち）

人口 28,757人※

視察テーマ **カフェ・ド・ギカイ（議会報告会）の取り組み**

茨城県 水戸市（みとし）

人口 267,095人※

視察テーマ **ハラスメントの根絶に関する条例**

議会運営委員会▶ 5名参加

●多様な参加者を募る「カフェ・ド・ギカイ」

参加者の顔ぶれが変わらない従来の議会報告会を、中高生を対象にしたり、女性限定にするなど、名前も気軽に参加してもらえるように「カフェ・ド・ギカイ」にし、参加しやすい雰囲気に変化させていました。特に中高生が積極的に参加し、大人に負けない発言をしているそうで、参考になりました。

●改選を機会に施行

水戸市は今年3月に「水戸市議会ハラスメントの根絶に関する条例」を施行している。新人議員が増えたこともあり、改めて議会内にルールを作る必要性を感じ、施行。あらゆる議員への配慮を傾注したとのこと、大切な視点でした。

より広く町民の声を聴く機会とするためにイノベーションしていく「カフェ・ド・キカイ」、ネーミングが素晴らしいと思いました。「ハラスメントの根絶に関する条例」では、「多数派の横暴とならないように配慮した」の言葉が印象的でした。

※人口数は令和6年4月1日現在

みやしろ 議会だより
No.132
2024年（令和6年）11月1日発行
発行／宮代町議会・議会広報委員会　0480（34）1111
住所／埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-4-1
発行責任者／議長　田島　正徳

町民の声

成田 勝哉（なりた かつや） さん
仁哉（じんや） さん（小2）
（宮東）

宮代町宮東地区に生まれ、百間小学校、前原中学校、県立高校、日本工業大学を卒業して、現在は地元で自動車販売修理業を営んでおります。

良縁に恵まれ、今では息子一人、娘三人の4人の父親になりました。子供達も自分と同じように、この宮代の地で地域の皆様に支えられ、毎日元気に過ごしています。

今、休みの日や学校が終わった後の息子と、近所の宮東グラウンドを借りて野球の練習をするのがとても楽しいです。

ありがたいことに、グラウンドやテニスコートも無料ですぐに借りられて、便利に使わせてもらっています。ただ、残念ながらグラウンドの草が生い茂り、練習に支障をきたすこともあります。

そこで、日頃無料で使わせてもらっている利用者で、草刈りボランティアができないでしょうか。町で呼びかけてもらえればやる気になる人はいると思います。あの大谷翔平選手もボランティア精神を大切にしています。ぜひ検討をお願いいたします。

表紙の写真紹介

10月13日に、町民スポーツフェスティバルが開催され、小さなお子さんから高齢者の方まで楽しみました。「ハナレンジャーと共に防災訓練」など、競技というよりも、やったことのなかったことを教えてもらい、チャレンジできるブースがたくさんあり、体を動かすキッカケになった方もいたのではないでしょうか。健康促進のためにも日々の運動は重要ですね。

第32回 町民と議員との議会懇談会

サロン・ド・ギカイ

開催日 11月9日㈯
午前10時～12時

場　所 進修館大ホール

内　容 「地域の課題について」

今回は町内自治会長、区長の皆様のご参加となります。

編集後記

7月に高根沢町と那須町に広報委員会の視察に行き、目を引く写真の撮り方や、被写体の選び方など、学んでまいりました。議会懇談会のネーミングも「サロン・ド・ギカイ」と変わりました。より、町民が主役、町民目線の議会と議会だよりを作ってまいります。

（野原）

再生紙を使用しています。
VEGETABLE OIL INK

議会についての詳しい内容は、宮代町のホームページでも見られます。
https://www.town.miyashiro.lg.jp